

旅行の行動者率（男女の違い？）

秋と言えば旅行・行楽のシーズンですね。今回は、旅行（1泊2日以上）について、社会生活基本調査（総務省統計局）の平成23年調査結果を調べてみました。

はじめに、旅行（1泊2日以上）の行動者率（※）を都道府県別にみると、京都府は61.1%で全国11位で、上位には関東地方や近畿地方の都府県が比較的多くみられます。（表1）

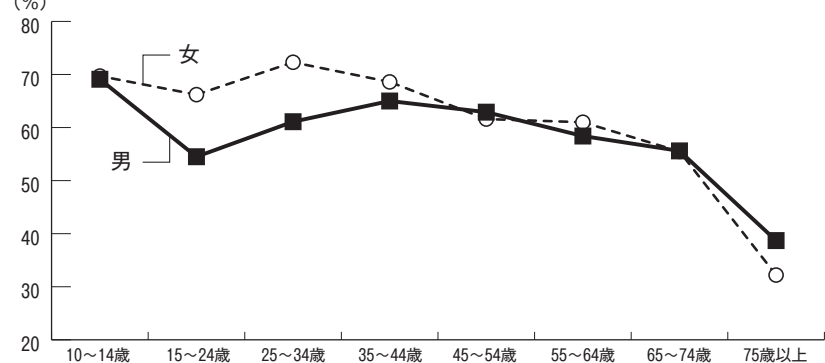
※行動者率＝行動者数÷各属性の10歳以上人口×100（%）



表1 都道府県別旅行（1泊2日以上）の行動者率

順位	都道府県名	(%)
1	東京都	68.5
2	神奈川県	67.7
3	埼玉県	63.9
4	奈良県	63.5
5	愛知県	63.0
6	滋賀県	62.8
7	兵庫県	62.3
8	千葉県	62.2
9	大阪府	62.0
10	富山県	61.6
11	京都府	61.1

図1 旅行（1泊2日以上）の年齢別男女別行動者率（全国）



次に、年齢別の行動者率を男女別に比べると、男女とも「10～14歳」から「15～24歳」にかけて減少しますがその後上昇し、男性は「35～44歳」、女性は「25～34歳」をそれぞれピークに再び減少に転じています。特に「15～24歳」と「25～34歳」では女性の行動者率は男性よりかなり高く、この年代において男女間で大きな差が出ています。（図1）

旅行種類別では男女とも「観光旅行（国内）」が最も多く、それ以外では特に男性が国内・海外とも「業務出張・研修・その他」が女性よりひととき高く、仕事関連の旅行が多いようです。（図2）

また、共にした人別では、男性は「学校・職場の人」と「一人で」が女性より多く、女性は「家族」と「友人・知人・その他の人」とが男性より多く、男女間で旅行を共にする人の違いがみられます。（図3）

図2 男女別旅行種類別行動者率（全国）

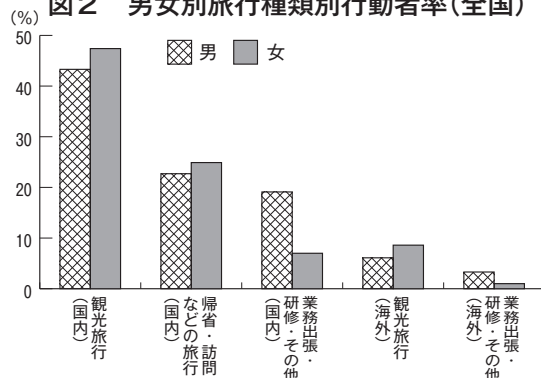
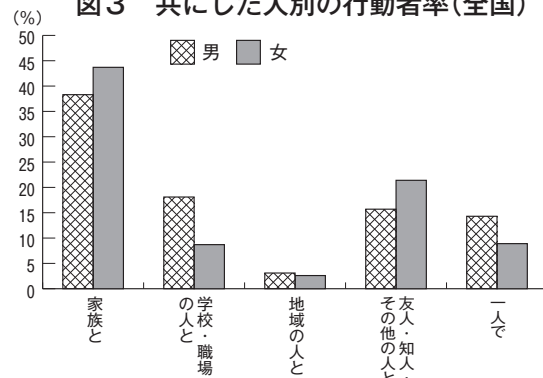


図3 共にした人別の行動者率（全国）



旅行に最適な季節に、日頃の仕事や家事を離れて、家族や親しい友人とあるいは一人で非日常の時間に浸り、思い出づくりや心身のリフレッシュを図ってみてはいかがでしょうか。